



とうえい

令和6年1月16日
東栄小学校
学校だより第9号

積み重ねることが大切！

うらかな新春を迎え、子どもたちの元気よく登校する姿を見て、大変うれしく思いました。始業式は、子どもたち全員と一緒に「明けましておめでとうございます」で始まりました。体育館はとても寒く、ピリッとした空気に包まれ、新年を迎える雰囲気は漂っていました。それでいて、窓から差し込む光は12月の頃に比べてとても明るく、春の兆しを感じとることができます。目の前にいた子どもたちの目の輝きがとても印象に残っています。



(春の七草)

せり なずな ごぎょう はこべら ほとけのざ すずな すずしろ

先日、春の七草をおかゆにさせていただきました。七草がゆは、昔中国という国の人が「風邪をひかないように」「お腹が痛くならないように」とお願いごとをして食べたのが始まりだと言われています。近所のスーパーでパックにして売られていた七草は、温室で栽培されたものでした。栄養たっぷりの七草がゆを食べた私は、今年一年、健康で過ごせそうな気がしています。

さて、始業式では『積み重ねることの大切さ』について話をしました。「今自分のできることをがんばればできそうなこと。そういうことを積み重ねていかないと、遠くの大きな目標は近づいてこない」これはアメリカで最多安打記録をつくったイチロー選手の言葉です。この言葉は3学期の勉強にもあてはまると思います。例えば、新しい漢字を覚えるということを考えてみましょう。漢字を覚えることは才能のあるなしでなく、覚えるための行動の差が大きいのではないのでしょうか？1日3語覚えれば1か月で90語覚えられます。毎日積み重ねるか三日坊主で終わるかで、差は大きくなっていきます。1月、2月、3月としっかり勉強を積み重ねていけば、次の学年にふさわしい力がつくのです。未来に大きな可能性をもっているみなさんには、来るべき日のために、こつこつと努力を積み重ね、自分の力を高めてほしいと思います。

3学期は思いのほか短く、学校に来る日が始業式を入れて1年生から5年生が50日、6年生は49日で卒業式を迎えます。1日1日を大切に過ごしていきたいですね。

～ちょっといい話 その8 どんど焼きに参加して～



「ねえ、どうしてどんど焼きをするの？」「お正月に来てくれた神様がきちんと天国へもどれるようにけむりでお見送りをしてあげるんだよ」地域の役員の人から教えてもらった子どもの笑顔が微笑ましく見えました。

(校長 井田 寿)